

第四次環境総合基本計画 指標進捗状況(R2年度実績及びR2年度までの評価)

資料4

柱	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗	評価 (①令和2年度進捗状況の評価、 ②令和2年度までの評価)
低炭素社会 の 推 進	家庭(世帯当たり)におけるエネルギー消費量 ※1	28.4 GJ/世帯 (2014(平成26)年度) ※算定に用いる統計値の改訂に伴い、 計画策定時の数値及び最終年度目標値 の見直しを行っている。	26.4 GJ/世帯 (2022(令和4)年度)	24.2 GJ/世帯 (2018(平成30)年度)	①家庭における省エネ意識の高まりや高効率設備の導入等が進んだことに加え、冬の平均気温が例年と比べてかなり高くなったため、2018年度の家庭(世帯当たり)におけるエネルギー消費量は、前年度比で12.5%減少した。 ②2018年度までに、既に最終年度目標値を達成した。
	事業所(床面積当たり)におけるエネルギー消費量	1.01 GJ/m ² (2014(平成26)年度) ※算定に用いる統計値の改訂に伴い、 計画策定時の数値及び最終年度目標値 の見直しを行っている。	0.95 GJ/m ² (2022(令和4)年度)	0.92 GJ/m ² (2018(平成30)年度)	①事業所における省エネ意識の高まりや高効率設備の導入等が進んだことに加え、冬の平均気温が例年と比べてかなり高くなったため、2018年度の事業所(床面積当たり)におけるエネルギー消費量は、前年度比で5.3%減少した。 ②2018年度までに、既に最終年度目標値を達成した。
	再生可能エネルギー導入 容量 ※1	192 万kW (2016(平成28)年度)	275 万kW (2021(令和3)年度)	269 万kW (2020(令和2)年度)	①本県及び市町村による再生可能エネルギー導入促進の取組の成果により、進捗は順調である。 ②2019年度に当初の目標を達成し、目標を上方修正した。これまでの取組の継続により、目標達成が期待できる。
	公共建築物等における木材 利用量 ※1	7,603m ³ (2016(平成28)年度)	10,000m ³ (2021(令和3)年度)	9,657m ³ (2020(令和2)年度)	①新型コロナウイルス感染症の影響により、県有施設の木造・木質化の計画に遅れが生じたこと等が原因で2020年度目標の9,800m ³ に対し、達成率98%と目標をやや下回ったが、昨年並みを維持できた。 ②公共建築物等における木材利用量の増加は、2020年度までに、最終目標の86%に達しており、最終年度目標値の達成が期待できる。

第四次環境総合基本計画 指標進捗状況(R2年度実績及びR2年度までの評価)

資料4

柱	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗	評価 (①令和2年度進捗状況の評価、 ②令和2年度までの評価)
循環型社会 の 推 進	リサイクル技術の実用化 件数 ※1	累計29 件 (2016(平成28)年度)	累計41 件 (2022 (令和4)年度)	累計37件 (2020(令和2)年度)	①福岡県リサイクル総合研究事業化センターによる研究 開発事業の成果により、2020年度には3件実用化した。 ②計画策定時から2020年度まで年平均2件実用化して おり、着実に成果を上げている。
	一般廃棄物最終処分量 ※1	189 千トン (2016(平成28)年度)	191 千トン以下 (2020(令和2)年度)	182千トン (2019(令和元)年度)	①2020年度実績値は10月頃に集計予定。 ②2019年度実績値(現在、把握している最新値)は、 182千トンであり、最終年度目標値を達成している。
	産業廃棄物最終処分量 ※1	619 千トン (2015(平成27)年度)	648 千トン以下 (2020(令和2)年度)	520千トン (2018(平成30)年度)	①2019年度実績値は10月頃に集計予定。 ②2018年度実績値(現在、把握している最新値)は、 520千トンであり、最終年度目標値を達成している。

※1 福岡県総合計画と共通

第四次環境総合基本計画 指標進捗状況(R2年度実績及びR2年度までの評価)

資料4

柱	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗	評価 (①令和2年度進捗状況の評価、 ②令和2年度までの評価)
自然共生 社会の推進	生物多様性地域戦略策 定市町村数	4 市町村 (2016(平成28)年度)	6 市町村 (2022(令和4)年度)	7市 (2020(令和2)年度)	①市町村に対する戦略策定の呼びかけと支援を継続した結果、古賀市(2018年度)、うきは市及び糸島市(2020年度)の3市が戦略を策定した。 ②2020年度までに、既に最終年度目標値を達成した。
	希少野生生物ホームペ ージへのアクセス件数 ※1	120,020 件 (2016(平成28)年度)	155,000 件 (2021(令和3)年度)	177,391件 (2020(令和2)年度)	①環境関連イベント等での啓発により、目標を大きく上回るアクセス数となった。 ②2020年度までに、既に最終年度目標値を達成した。
	農地等の保全に取り組 む面積 ※1	39,056ha (2015(平成27)年度)	40,000ha (2021(令和3)年度)	40,033 ha (2020(令和2)年度)	①2020年度の結果は、農地等保全の取組により、当初の目標値を達成した。 ②地域の共同活動を通じて、農地等の保全の取組が定着しつつあり、最終年度目標値を達成することができた。

※1 福岡県総合計画と共通

第四次環境総合基本計画 指標進捗状況(R2年度実績及びR2年度までの評価)

資料4

柱	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗	評価 (①令和2年度進捗状況の評価、 ②令和2年度までの評価)
健康で快適に暮らせる生活環境の形成	景観計画による規制・誘導が行われている市町村数 ※1	23 市町村 (2016(平成28)年度)	30 市町村 (2022 (令和4)年度)	26 市町村 (2020(令和2)年度)	<p>①2020年度は策定に向けて取り組もうとしている市もあったが、新型コロナウイルスの影響で住民説明会が行えず取組を進めることができなかった。</p> <p>②2016年から2020年度まで3市が計画策定を行った。最終年度目標値に向けて、2017年度から市町村に対し個別にヒアリングを行っており、景観への意識向上を図ってきた。また、2020年度より、国の事業として、景観計画策定に係る費用の補助(景観改善推進費)や、県の事業として、景観計画を策定しようとする市町村に対して、景観整備に係る費用の補助(美しい景観形成推進費)が開始されている。今後もヒアリングや補助事業の活用促進を通じ、市町村への支援、啓発を行い達成に向けて対応する。</p>
	環境基準の達成率(大気、水、ダイオキシン(DXN)類、騒音)	<p>大気(SPM,NO2:100%)</p> <p>水質(BOD,COD:85.6%)</p> <p>DXN 類(大気、公共用水域水質、公共用水域底質、騒音(航空機80.0%、新幹線68.9%、自動車95.8%))</p> <p>(2016(平成28)年度)</p>	<p>環境基準の達成率向上・達成維持を図る。</p> <p>(2022 (令和4)年度)</p>	<p>大気(SPM,NO2:100%(全地点))</p> <p>水質(BOD、COD:76.1%(全地点))</p> <p>DXN類(全項目:100%)</p> <p>騒音(航空機97.6%、新幹線70.5%、自動車96.2%)</p> <p>(2020(令和2)年度)</p>	<p>①大気、DXN類、騒音に関しては、目標値を達成済み。水質に関しては、2019年度から横ばいであった。</p> <p>②大気、DXN類に関しては、計画期間中、目標値を達成し維持している。水質に関しては、計画期間中では、2018年度から横ばいの状況が続いている。水質は、降雨状況等により変動があり、また、未達成の状況が続いている水域もあるため、今後も監視を継続する。騒音に関しては、2019年度に目標値を達成し、それ以降は維持している。</p>

※1 福岡県総合計画と共通

第四次環境総合基本計画 指標進捗状況(R2年度実績及びR2年度までの評価)

資料4

柱	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗	評価 (①令和2年度進捗状況の評価、 ②令和2年度までの評価)
国際環境協力の推進	国際環境協力の案件数 ※1	累計7件 (2016(平成28)年度)	累計19件 (2022(令和4)年度)	累計14件 (2020(令和2)年度)	①2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定案件数の2件に対して実績1件となった。 ②2020年度までに、最終年度目標値の7割に達しており、これまでの取組継続により当初の最終年度である2022年度には、目標達成が期待できる。
	国際環境協力に係る研修参加者数	累計179人 (2016(平成28)年度)	累計263人 (2022(令和4)年度)	累計231人 (2020(令和2)年度)	①2019年度までの研修参加者数は累計231人となり、順調に進捗していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、同年度の招へい人数は0人となった。 ②招へい研修の代替としてオンラインで開催することにより、当初の最終年度である2022年度には、目標達成が期待できる。

※1 福岡県総合計画と共通

第四次環境総合基本計画 指標進捗状況(R2年度実績及びR2年度までの評価)

資料4

柱	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗	評価 (①令和2年度進捗状況の評価、 ②令和2年度までの評価)
経済・社会の グリーン化 とグリーン イノベーションの推進	特区制度を活用して設備投資を行った企業数 ※1	累計105 社 (2016(平成28)年度)	累計200 社 (2021(令和3)年度)	累計164社 (2020(令和2)年度)	①2020年度は、コロナ禍の影響を踏まえ、例年以上に企業や商工団体等に周知を行う等の取組を行った結果、事業全体としては概ね順調に進捗している。 ②2020年度までに、最終年度目標値の約6割に到達した。引き続き、企業等に対し幅広く周知を行うとともに、企業訪問等により、活用企業の掘り起こしを行う。
	エコタウン(北九州市及び大牟田市)事業に関わる事業数	42 事業 (2016(平成28)年度)	42 事業 (2022 (令和4)年度)	44事業 (2020(令和2)年度)	①2020年度は、目標値を上回った。 ②最終年度目標値を上回って推移しており、目標値を達成できる見込み。
	福岡県の試験研究機関における環境関連技術の開発件数	累計54 件 (2016(平成28)年度)	累計97 件 (2022 (令和4)年度)	累計79件 (2020(令和2)年度)	①各試験研究機関の取組により、2020年度は6件の環境負荷の低減に寄与する技術が開発された。 ②例年5～8件の開発実績があり、進捗としては堅調であると考える。

※1 福岡県総合計画と共通

第四次環境総合基本計画 指標進捗状況(R2年度実績及びR2年度までの評価)

資料4

柱	指標項目	計画策定時	最終年度目標値	進 捗	評価 (①令和2年度進捗状況の評価、 ②令和2年度までの評価)
持続可能な 社会を実現 するための 地域づくり・ 人づくり	福岡県環境ウェブサイト アクセス数	816,093 件 (2016(平成28)年度)	900,000 件 (2022 (令和4)年度)	963,018 件 (2020(令和2)年度)	①県の環境に関するまとめサイトである「環境ひろば」での適時の情報発信により、アクセス数は順調に増加した。 ②2020年度までに、既に最終年度目標値を達成できた。
	こどもエコクラブ市町 村事務局登録数	13 市 (2016(平成28)年度)	30 市町村 (2022 (令和4)年度)	22 市町 (2020(令和2)年度)	①新型コロナウイルス感染症の影響により、自治体訪問による呼びかけが困難となり、事務局登録数については伸びが鈍化した。計画策定時より増加した。 ②今後も事務局登録のメリット(エコクラブイベントへの共催や市町村主催イベントでのエコクラブへの参加呼びかけ)を説明し、登録を働きかける。
	環境講座・環境イベント等 の開催数	2,013 件 (2016(平成28)年度)	2,013 件以上 (2022 (令和4)年度)	1,043 件 (2020(令和2)年度) ※参考 2,070件 (2019(令和元)年度)	①2020年度は新型コロナ感染症対策により、イベント数は大幅に減少した。 ②2019年度までのイベント数は順調に推移しており、コロナ禍がなければイベント数の目標は達成も見込まれたと考える。今後はオンラインによる開催も積極的に検討することにより、引き続き目標達成に向け創意工夫していく。